

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人 かわさき市民共同おひさまプロジェクト

1 事業の成果

今年度は感染症拡大によって活動が制限された面もあったが、オンライン会議や学習会など、活動の新しい形を模索する年であった。年度後半には川崎市の脱炭素戦略が出されて、再生可能エネルギーへの注目度の高まりが感じられ、ソーラーシェアリング太陽光発電など新しい取り組みを始めている。当団体のレター発行、イベント出展で再生可能エネルギーの普及啓発活動を行った。

2 事業内容

(1) 自然エネルギー設備の設置に係る相談助言事業

民間施設、マンションへの設置を支援する活動

- ・内容 民間施設での設置促進に向けて、以下の取り組みを行った。

①屋根に関する勉強会（6月25日）

FIT制度が縮小し、10kW以上の全量売電は実質的に制度利用ができなくなり、10kW未満の余剰売電も買取価格が低下し、コストを下げなければ設置が難しくなっている。太陽光発電を低コストで設置できる屋根はどのようなものかを知る必要があり、建築士を講師に、屋根の勉強会を実施した。

②設置業者を講師に自家消費太陽光発電の勉強会実施（2月22日）

普及啓発活動でも協力している太陽光発電設置業者に依頼し勉強会を実施した。地域住民、福祉施設、同業者や横浜市とも協働していることを聞き、川崎市内でもそのような関係を作れないかと検討している。

③ソーラーシェアリング学習会（2月15日、3月8日）

川崎市の農家から、ソーラーシェアリング太陽光発電で電気の自給をしたいので相談したいとの要望があり、かわさき生活クラブと農家との相談会を2回実施した。川崎市の関係部署とも相談を始めている。

- ・日時 通年
- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 0円

(2) 自然エネルギー設備の設置及び維持管理事業

(ア) 太陽光発電設備の設置の推進

- ・内容 福祉施設等への設置の調査

インターネットの航空地図を活用して、太陽光発電を設置しやすい建物を探している。その際、川崎市の福祉施設ガイドブックを参考にして、日中に多くの電力を使用し自家消費太陽光発電に向けた施設を対象に検討した。

- ・日時 通年

- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 0円

(イ) おひさま1号機・2号機の維持管理

- ・内容 1号機（川崎市国際交流センターの太陽光発電）の発電量測定、2号機（川崎フロンターレ麻生クラブハウスの太陽熱温水器）の集熱量測定を継続し、1、2号機とも正常に稼働していることを確認している。
- ・日時 通年
- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 4,026円

(3) 自然エネルギーや省エネルギー等に関する情報発信及び普及啓発事業

(ア) 各種イベントにおける普及啓発事業

- ・内容 ①例年開催されている「インターナショナル・フェスティバル」はコロナ禍により開催されなかった。「おひさまフェス×星空上映会2020」は慎重にコロナ対策をしながら9月19日に開催され、「再エネ&防災ひろば」に出展した。停電時に役立つ太陽光発電など展示、川崎市の脱炭素戦略（案）、神奈川県「0円ソーラー」の紹介をした。
- ②『自然の電気』の選び方講座を、12月13日の環境フォーラムで開催した。家庭でも電力会社を選べるので、地球温暖化防止のために再生可能エネルギーの電気を供給する電力会社を選ぼうとアピールした。
- ③12月20日、川崎市環境リーダー育成講座で、活動紹介を行った。
- ・日時 9月19日、12月13日、12月20日
- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 4,696円

(イ) 情報発信事業

- ・内容 プロジェクトレターNo.18を作成し2021年2月発行、会員及びこれまでの自然エネルギー事業への協力者に対して送付した。また、当プロジェクトのホームページに掲載し、情報発信を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 会員及び協力者、川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 23,973円

(4) 行政や社会への提案・提言事業

- ・内容 2020年9月に川崎市が出した、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050(案)」に対してパリックコメントを提出した。策定後は賛同団体として登録した。また、川崎市内でSDGsを推進する団体として、「かわさきSDGsパートナー」に登録した。
- ・日時 通年
- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 会員及び協力者、川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 0円

(5) その他各号に付帯する事業

(ア) 関連団体との連携した活動

- ・内容 再生可能エネルギー普及の目的を共有する、川崎地域エネルギー市民協議会、NPO法人市民電力連絡会に参加し、情報の共有を図りながら活動を推進した。CCかわさきエコ会議理事会に参加し、参加団体と情報交換を行った。

川崎地域エネルギー市民協議会の構成団体として以下の活動を行った。

- ①「脱炭素戦略のさらなる進展を求める陳情」提出
- ②川崎市が実施した公共施設の屋根貸しによる太陽光発電設置に市民協議会として応募しており、設置実現に向けての準備活動を行った。
- ③多摩川宿河原堰小水力発電プロジェクトは、当該地域が50kW以上の逆潮流あり系統連系はできない地域であることが分かり、事業化検討は中止となった。

- ・日時 通年
- ・場所 川崎市内
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 川崎市民及び川崎市内在勤者
- ・支出額 4,100円